

財務諸表に対する注記

1、重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
建物及び什器備品…定額法によっている。
- (2) 消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2、基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
(1) 俳諧資料	335,200,568	0	0	335,200,568
(2) 基本財産引当資産	36,300,000	0	0	36,300,000
小 計	371,500,568	0	0	371,500,568
特定資産				
(1) 退職給付引当資産	3,177,317	660,393	0	3,837,710
(2) 俳諧資料購入引当資産	2,173,879	544	0	2,174,423
(3) 俳句資料室事業引当資産	11,355,946	100,000	982,295	10,473,651
(4) 建物附属設備	25,631,677		1,836,212	23,795,465
小 計	42,338,819	760,937	2,818,507	40,281,249
合 計	413,839,387	760,937	2,818,507	411,781,817

3、基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
(1) 俳諧資料	335,200,568	(0)	(335,200,568)	(0)
(2) 基本財産引当資産	36,300,000	(0)	(36,300,000)	(0)
小 計	371,500,568	(0)	(371,500,568)	(0)
特定資産				
(1) 退職給付引当資産	3,837,710	(0)	(3,837,710)	(3,837,710)
(2) 俳諧資料購入引当資産	2,174,423	(0)	(2,174,423)	(0)
(3) 俳句資料室事業引当資産	10,473,651	(10,473,651)	(0)	(0)
(4) 建物附属設備	23,795,465	(23,795,465)	(0)	(0)
小 計	40,281,249	(34,269,116)	(6,012,133)	(3,837,710)
合 計	411,781,817	(34,269,116)	(377,512,701)	(3,837,710)

4、固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	397,844,566	226,771,396	171,073,170
什器備品	30,506,484	25,434,724	5,071,760
合 計	428,351,050	252,206,120	176,144,930